

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神障害リハビリテーション論		選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
間嶋 健	B312	ken.majima	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>精神障害リハビリテーションの理念と考え方、展開について理解するとともに、各種リハビリテーションプログラムの目的と内容について理解することを目的とする。</p> <p><概要>精神保健医療福祉の基本理念をもとに、精神障害者の全人的回復のためにどのような精神障害リハビリテーションの取り組みが行われているか、理解と考察を深められるよう授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	精神障害のある人が主体的な生活や人生を取り戻すプロセスとその支援について幅広く取り扱うため、授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用して理解や考察を深めてほしい。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 3 精神障害リハビリテーション論/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				

学生が達成すべき行動目標

関連卒業認定・学位授与方針

①	精神障害リハビリテーションの理念と考え方について理解し説明できる。	HSU(1)~(3)、HC(1)~(3)、(5)
②	精神障害リハビリテーションの構成と展開について理解し説明できる。	HSU(2)、(3)、HC(1)、(5)
③	各種リハビリテーションプログラムの目的と内容について理解し説明できる。	HSU(2)、(3)、HC(1)、(5)
④	精神障害リハビリテーションの動向と課題について理解し説明できる。	HSU(1)~(3)、HC(1)~(3)、(5)
⑤		
⑥		

授 業 計 画

回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。	講義	シラバスを精読する。 4
2	[精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則①] 精神障害リハビリテーションの定義について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 1・2 節を精読する。 4
3	[精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則②] 精神障害リハビリテーションの歴史について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 1・3 節を精読する。 4
4	[精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則③] 精神障害リハビリテーションの理念と基本原則について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 1・3・4 節を精読する。 4
5	[精神障害リハビリテーションの構成および展開①] 精神障害リハビリテーションの対象について学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 1 節を精読する。 4
6	[精神障害リハビリテーションの構成および展開②] 精神障害リハビリテーションのアプローチとプロセスについて学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 2・3 節を精読する。 4
7	[精神障害リハビリテーションとソーシャルワーク①] 精神リハビリテーションとソーシャルワークの関係について考える。	講義・演習	教科書第 1 章を精読する。 4
8	[医学的リハビリテーションプログラム] 医学的リハビリテーションプログラムの目的と内容について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 1 節を精読する。 4
9	[職業的リハビリテーションプログラム] 職業的リハビリテーションプログラムの目的と内容について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 2 節を精読する。 4
10	[社会的リハビリテーションプログラム] 社会的リハビリテーションプログラムの目的と内容について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 3 節を精読する。 4
11	[教育的リハビリテーションプログラム] 教育的リハビリテーションプログラムの目的と内容について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 4 節を精読する。 4
12	[家族支援と当事者主体のリハビリテーション] 家族支援プログラム、障害当事者や家族を主体とした活動について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 5 節、第 5 章第 1 節を精読する。 4
13	[依存症のリハビリテーション、その他の手法] 依存症のリハビリテーションとその他の手法・プログラムについて学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 6 節、第 5 章第 2 節を精読する。 4
14	[精神障害リハビリテーションとソーシャルワーク②] 精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について考える。	講義・演習	教科書第 1 章を精読する。 4
15	[まとめ] これまでの授業の総括を行う。	講義	これまでの授業内容を復習する。 4

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照		
---	-----------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		10	0	0	0	10	20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～④について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。	正答や模範解答を Teams で公表する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。授業内容の理解や取り組み状況等を確認し、評価する。	次回授業時にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえながら、教員自身の実務経験で得た具体例（個人、団体等の特定ができないよう加工）を挙げて説明し、理論知と実践知の両面から理解を促すよう工夫する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉士資格取得希望者は必ず履修すること。 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われることがある。